

NEWSLETTER

社内に関するニュースレター

2026年

1月17日(土)

writing 浜島

「しづおか経済 オンリーワン」 読売新聞に掲載されました

2026年(令和8年)1月17日(土曜日)

言葉

乗合

屋内



溶射作業（村田ボーリング技研提供）



機械の部品は、一から作るコストも高くかかり、納品も遅くなる。短期間で部品を再生させ、より硬い皮膜を付けられるのが溶射のメリット。

同社の溶射加工は3工程から成る。ボロボロに摩耗した部品を溶射できるよう削つ

て整える「前加工」。溶かした金属などを吹き付けて薄い膜を形成して強化する「溶射」。高速に回転する砥石で溶射した部分を1㍉の100分の1単位で丁寧に研磨する「後加工」。一連の流れを

輪転機や工作機械など使う間に磨耗していく機械の部品。その表面に金属やセラミックなどの粒子を吹き付けて強化する技術「溶射」を専門にするのが、静岡市駿河区の村田ボーリング技研。自称「社長の仕事をする一般社員」の村田光生社長(68)は「人を大切にしていかないと生き残っていけない」と強調する。

溶射加工 熟練の技術

→ しづおか経済 ←

スマートフォンやテレビなどの液晶の製造に欠かせないロールに、セラミックを溶射しレーザー光線で彫刻する技術も持つ。国内では2社のみの技術だといふ。

工場には、汎用工作機械もずらりと並ぶ。コンピュータードルやレバーを手作業で動かして、部品ごとに加工する機械だ。年間の取引企業は700～800社あり、多種多様な部品の加工を担う同社には欠かせないといふ。

村田ボーリング技研（静岡市）

1950年に自動車エンジンのボーリング（再生）を目的に創業した。本社は静岡市駿河区北丸子丁目30の45。従業員は20歳代～70歳代の約90人。県内や神奈川県のほかに、愛知県や福島県、中国・上海にも拠点を持つ。

同社では、10年ほど前から

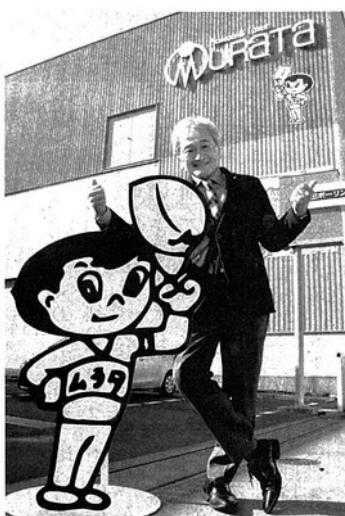
充実した福利厚生制度も整備した。有給休暇を4分割して取る「2時間有給制度」を導入し、通院や子どもの送迎などに便利と好評だ。社長メセージ付きの誕生日ケーキや防災パックが家族分贈られるなど独自の制度もある。

これまで製造部門に女性従業員はいなかつたが、人口減少社会に対応するため、積極的に採用している。福利厚生の充実は、女性従業員の定着にも効果的で、現在は「溶射女

人を大切にする風土」づくりを進めてきた。「社員同士が互いを幸せにして、お客様が喜ぶ姿を想像し、わくわくしながら仕事をする職場づくりがしたい」と村田社長。社員の意識が高まつたことで、これまで断つていた取引先からの緊急依頼も、徹夜で仕上げて早期の納品を実現できたこともあったといふ。

同社は経営理念に「社員と家族、取り巻く全ての人々の安心と幸福を実現する」と掲げる。村田社長は「社員が大切にされていると思えるほど、魂が込められた物作りができる」と強調する。「なぜ長持ちするのかと聞かれたら、うちの商品には心が入っていると言いたい」と力を込

（栗山泰輔）



社章のムラタ坊やと村田社長（静岡市駿河区で）